

# 一般質問通告一覧表

令和6年3月19日

No. 1

番号	質問事項・質問の要旨	答弁者	質問者
1	<p><b>1. 大阪・関西万博への参画について</b></p> <p>1. 機運醸成に向けた町の実施と催事参加について。 2. 若い世代の参加について。</p>	町長	建石議員
2	<p><b>1. 太子町の教育について</b></p> <p>1. 太子町幼小中一貫教育について ①前回（令和4年12月議会）から、これまでの幼小中一貫教育の実施について ②非認知能力を育むことの実施における課題や各学校の独自性について</p> <p>2. 太子町の生涯学習について ①太子町立生涯学習センター「太子の森」の利用状況について ②新規利用者の拡大に向けて</p>	教育長	斧田議員
3	<p><b>1. 認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて</b></p> <p>①認知症に対する正しい理解を深める広報活動の実施について ②認知症に対する太子町の実施について</p>	町長	辻本(博)議員
4	<p><b>1. 保育環境の充実を</b></p> <p>長年の運動が実り、国が保育士の配置基準の一部を76年ぶりに見直した（保育士1人がみる4～5歳児の数で、現行の30人から25人に手厚くする。こども家庭庁によると、同時に3歳児の数も現行の20人から15人に改定）。旧基準での「経過措置」の期限は未定で、新基準でも保育士を増やした分の財政的な手当が自治体により不十分な可能性が懸念されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新基準による財政支援をするのか。保育士も人手不足。保育士は確保できるのか。</li> <li>・保育の無償化に係る費用は。町長の公約に書かれていた「保育の無償化」が実現していない。無償化を。</li> </ul>	町長	藤井議員

番号	質問事項・質問の要旨	答弁者	質問者
4	<p><b>2. ヤングケアラーの実態調査を</b></p> <p>ヤングケアラーへの支援は法律上、明確な規定がなく、地域による支援体制にもばらつきがあることが課題だったが、こども家庭庁が「子ども・若者育成支援推進法」を改正し、支援の対象として明確化する方針を決めた。</p> <p>令和4年(2022年)3月『大阪府ヤングケアラー支援推進指針』がまとめられ、令和5年10月大阪府教育庁『ヤングケアラーの支援に向けて』が作成されている。大阪府のホームページには市町村ヤングケアラー相談窓口が紹介されており、太子町では子育て支援課が「子どもや家庭の相談」、教育総務課が「学齢期のヤングケアラー当事者からの相談」窓口と書かれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太子町では別々に扱っているのか。相談はあるのか。</li> <li>・ヤングケアラーの問題に加え、「ダブルケア」も問題視されている。「ダブルケア」についてどう考えているのか。</li> <li>・太子町での実態調査を求める。</li> </ul>	町長	藤井議員
5	<p><b>1. 組織体制の改革は成功したと考えるのか</b></p> <p>「役場組織についても常に時代の変化に対応していかなければなりません」「組織全体の士気高揚、公務能率の向上を図るため、組織体制の改革を(この秋を目途に)行ってまいります」とのことだが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制の改革で「士気が高揚した」「公務能率が上がった」のか。</li> <li>・働きやすい、働き続けようと思える職場環境を作り出したと考えているのか。</li> </ul> <p><b>2. 「公共交通」は住民の声を聴け</b></p> <p>2023年5月19日に金剛バスから「路線廃止」を告げられ、私たち議員に明らかにした9月8日までの間に19回も事務担当者間で打ち合わせをしながら、11日に報道されて以降「時間がない」ことを理由に住民の声を聴かずに進めてきた。今は、「6月までに計画をつくらなければならない」と新たな急ぐ理由を持ち出し、またも住民の意見を聴かずに『太子町地域公共交通計画』を策定しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一体、誰のための公共交通、バスだと思っているのか。</li> <li>・住民の声を聴かずに住民の願う公共交通、バスを走らせることができる、真面目に考えているのか。</li> <li>・「持続可能」という言葉に含まれている意味は。</li> </ul>	町長	西田議員
		町長	

番号	質問事項・質問の要旨	答弁者	質問者
5	<p><b>3. 災害支援にジェンダー視点を</b></p> <p>災害対策でジェンダー平等の視点は不可欠。安全で人権が守られる避難所の設置・運営など様々な対策で女性の意思決定への参加が重要。</p> <p>今回の「令和6年能登半島地震」被災地に太子町から女性職員が派遣されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「女性」が必要とされての派遣ではないのか。太子町で大規模災害が起こった際、自治防災課が現在の男女比率でいいと考えるのか。</li> <li>・女性が安心できる専用スペースの確保、生理用品などの必要数など備えは十分だと考えるのか。</li> </ul>	町長	西田議員
6	<p><b>1. 働きやすい職場環境</b></p> <p>将来に向けて職員の管理体制は</p>	町長	辻本(馨)議員
	<p><b>2. 土地利用について</b></p> <p>企業誘致や開発の考えを問う</p>	町長	
	<p><b>3. 太子町の将来について</b></p> <p>太子町という名をどう思っているか</p>	町長	